

平成29年度は、専門部長として、多久高校の蒲原正憲校長先生が3年目になり、樋口義朗(多久)、宮川淳(唐津東)、江原一興(鳥栖工)の3人の先生方に、再び小川高明(鳥栖工)を専門委員とし、武末良樹(多久)が専門委員長として各大会を実施することになりました。

今年度が開催された大会を、時間を追って紹介します。高体連関係で、6月の県総体では、多良岳・経ヶ岳山系で予定通りに行われました。7月の九州大会では、長崎県の雲仙山系で開催され、8月の全国大会では、山形県の月山・蔵王山山系で開催されました。山岳連盟関係で、4月に国体県予選、九州ブロックジュニア選手権、7月に長崎での国体九州ブロック予選、10月に愛媛県での国民体育大会、11月には、眉山・八幡岳山系での新人大会、12月には第8回全国高校選抜クライミング選手権が例年通り埼玉県加須市で開催されました。

以下、報告をいたします。

#### 平成29年度国民体育大会佐賀県予選

- ・期 日 4月9日(日)
- ・会 場 多久市  
多久高等学校
- ・参加校 (男子) 佐賀工 多久高 鳥栖工  
佐賀北 星生学園  
(女子) 多久高 佐賀工
- ・参加者 男子26名 女子2名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

今年は、昨年に引き続き、小学生のころからクライミングをやっている選手を含め、男子は5校26名の参加となりましたが、女子が2校2名のさびしい参加となりました。

男子については、昨年世界大会にデビューを果たした靄本直生(多久高2年)くんをはじめ、昨年国体に出場した小島麟太郎(佐賀北1年)くんなど、実力が均衡している世代が多く、今年も楽しみな大会でした。リードでは靄本くんと小島くんが完登し、ボルダリングでは20本の課題のうち、靄本くん、中武凌雅(星生学園3年)くん、中園龍成(佐賀工2年)くんが18本を登り、同点で1位をとり、総合で靄本くんが2連覇、中武くんが2位、小島くんが3位となりました。

女子については、高校生2名の参加で、さびしい大会となりましたが、今年から樋口結花(多久高1年)さんがいよいよ高校生となり、リードでは完登こそ逃したもの

の、1位となり、ボルダリングでも20本の課題すべてをクリアし、その実力を遺憾無く発揮し、堂々の総合1位、総合2位にはリード2位、ボルダリング3位の渡島夏希(成章中3年)さん、リード3位、ボルダリング2位の掛林紗衣(中央中3年)さんが同点で並びました。男女とも2位以下の選手の実力が均衡し、その後の大会や、練習の中で、男子は優勝の靄本くんと中武くん、女子は優勝の樋口さんと渡島さんを佐賀県代表として選出し、国体九州ブロックの代表選手としました。

#### 成績

- 男子 1位 靄本 直生(多久高2年)  
リード1位(完登) ボルダリング 18/20本
- 2位 中武 凌雅(星生学園2年)  
リード3位(44P) ボルダリング 18/20本
- 3位 小島 麟太郎(基里中3年)  
リード1位(完登) ボルダリング 14/20本
- 女子 1位 樋口 結花(多久高1年)  
リード1位(38P) ボルダリング 20/20本
- 2位 渡島 夏希(成章中3年)  
リード2位(34+) ボルダリング 17/20本
- 2位 掛林 紗衣(中央中3年)  
リード3位(33+) ボルダリング 18/20本

#### 第17回九州ブロックスポーツクライミング選手権

- ・期 日 4月23日(日)
- ・会 場 鹿児島市  
鴨池クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 佐賀 長崎 熊本  
大分 宮崎 鹿児島  
(女子) 佐賀 長崎 熊本  
大分 宮崎 鹿児島
- ・参加者 男子40名 女子20名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

毎年、九州各県で持ち回りでの開催で、高校生だけでなく小中学生も参加できる九州では比較的大きな大会で、今年には鹿児島県で行われました。男女とも、福岡・沖縄を除く6県かから参加し、高校生だけでも男子40名、女子20名の参加となりました。

佐賀県から男子が16名、女子が1名参加しました。男女とも予選を1本行い、そのうち上位の男子8名、女子6名が決勝に進みました。男子は、大会2連覇を果たし

ている靄本直生(多久高2年)くんが地元の高校生と予選で完登し、中武凌雅(星生学園3年)くん、小島麟太郎(佐賀北1年)くん、平井寛太(星生学園1年)くんが決勝進出を果たしました。決勝では、靄本くんが、完登し、3連覇に輝きました。中武くんは予選を3位で通過し、決勝も3位、小島くんは予選6位から決勝4位、平井くんは予選5位から一つ順位を落とし決勝6位と、それぞれ健闘しました。女子は、昨年、中学生ながら総合チャンピオンとなった樋口結花(多久高1年)さんが、長崎県の選手とともに完登し、予選1位で通過し、決勝では完登こそ逃したものの、6手以上2位を引き離し、2連覇を果たしました。

#### 成績(高校の部)決勝進出者のみ

男子	靄本 直生(多久高2年)		
	予選 TOP	1位/40人	
	決勝 TOP	1位/8人	
	中武 凌雅(星生学園3年)		
	予選 27	3位/40人	
	決勝 28+	3位/8人	
	小島 麟太郎(佐賀北1年)		
	予選 23+	6位/40人	
	決勝 26+	4位/8人	
	平井 寛太(星生学園1年)		
	予選 24	5位/40人	
	決勝 25	6位/8人	
女子	樋口 結花(多久高1年)		
	予選 TOP	1位/20人	
	決勝 36.5+	1位/6人	

#### 県高校総体

- ・期 日 6月2日(金)～4日(日) (2泊3日)
- ・会 場 太良町 鹿島市 嬉野市  
多良岳・経ヶ岳山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工  
多久高 唐津東 (5校)  
(女子) 三養基 唐津東 (2校)
- ・参加者 男子47名 女子9名
- ・コース 2日 中山キャンプ場 [開会式]  
縦走競技 中山キャンプ場(特区S)－  
六体地藏－多良岳(特区G)－(パーティ  
ィ行動)－金泉寺－(隊行動)－中山キ  
ャンプ場 [幕営]

- 3日 縦走競技 中山キャンプ場＝奥平谷－  
(隊行動)－経ヶ岳－つげ尾－釜伏山－  
岩屋越－奥平谷＝広川原キャンプ場  
[幕営]
- 4日 踏査競技 広川原キャンプ場－周辺－  
広川原キャンプ場 [閉会式]

2日(金)10時、中山キャンプ場で開会式を行い、式後、全員によるペーパーテスト(登山知識について)を行いました。昼食後、そこから多良岳まで特区间(チームによるタイムレース)を実施し、多良岳で休憩した後、金泉寺までパーティ(各校選手のみ)で下り、金泉寺から隊行動で中山キャンプ場まで下りました。天候は晴れで、前回(H26)に熱中症に襲われたので、総務委員長(兼審査員)として、ヒヤヒヤしながら特区间に張り付き、審査を行うとともに選手の安全に留意しました。男子は、伝統校の鳥栖工と大会記録となる6連覇がかかっている佐賀工の一騎打ちでタイム差はほとんどなく、特区ではどちらも1位を獲得した。女子は昨年の全国大会を経験している唐津東がトップでゴールしました。中山キャンプ場に戻り、装備審査、各校代表による気象審査(天気図作成)・医療審査(ペーパーテストと医薬品装備審査)、幕営審査、炊事審査が行われ、夜9時には消灯となりました。

3日(土)は、4時に起床し、5時30分集合し、中山キャンプ場から、車で縦走スタート地点である奥平谷に向かいました。前回までは、中山キャンプ場から奥平谷まで、行動役員(縦走行動中の選手を掌握する係)の車を総務委員が2往復して、輸送していたが、顧問の数を減ってきて、今回は、奥平谷をスタート地点とし、経ヶ岳を経て、奥平谷に周回するコースを設定し、車の輸送をなくしました。各隊の隊長が選手たちを率いて、経ヶ岳山頂を目指しました。平谷越まで体力、歩行、読図の審査などを行い、そこからつげ尾までは岩場や急傾斜の下りがあるため、審査をせずに経ヶ岳で景色を楽しみ、つげ尾から再び、体力等の審査を行い、釜伏山先のコルで休憩をとったのち、岩屋越を経て、ゴール地点である奥平谷に到着しました。監督の車に乗る前に、装備検査を行い、広川原キャンプ場に向かい、幕営審査、炊事審査を行い、就寝となりました。

4日(日)は、5時に起床し、6時30分集合し、踏査競技を行いました。踏査競技は平成15年度まで行ってきた競技の一つで、1万分の1の地図(縦走中は2万5千分の1)で、読図を行い、ポイントが置かれている位置を正確

に把握する競技で、規定時間内に戻ってきたチームに、4点を与え、読図ポイントを12カ所置き、正確性を競いました。各チームが2分おきにスタートしていき、すべてのチームが規定時間に戻ってきました。広川原キャンプ場に戻り、閉会式を行いました。

男子は、鳥栖工が約3点差で、佐賀工を破り、6年ぶり28回目の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を、2位は佐賀工が九州総体の切符を手に入れました。女子は、唐津東が4年連続で4回目の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を手に入れました。

#### 成績

- 男子 1位 佐賀工 93.000点(九州・全国大会出場)  
2位 鳥栖工 90.850点(九州大会出場)  
3位 唐津東 80.250点
- 女子 1位 唐津東 89.300点(九州・全国大会出場)  
2位 三養基 52.850点

#### 第60回全九州高等学校登山競技大会

・期 日 7月7日(金)～10日(月) (3泊4日)

・会 場 長崎県 雲仙山系

・参加校 男子A隊 7校  
男子B隊 7校  
女子C隊 7校

・出場校の選手・監督

男子A隊 鳥栖工：日野 侑真 古賀 日向太  
大坪 将樹 平田 壮矢  
監督：江原 一興

男子B隊 佐賀工：神田 章太 柳島 悠人  
副島 大揮 池田 昂世  
監督：吉村 優輝

女子C隊 唐津東：山下 佳奈 森 冴華  
吉田 日向子 永野 悠希  
監督：宮川 淳

・コース

7/7 開会式(千々石中学校)  
千々石中学校(泊)

7/8 千々石中学校(雨天待機)－弘法原－林道  
終点広場－田代原トレイルセンター[チ  
ーム行動]－九千部岳－田代原トレイル  
センター＝千々石中学校(泊)

7/9 千々石中学校＝田代原トレイルセンター  
[チーム行動]－南の肩－第2吹越－国見

妙見コルー 鬼人谷口－鳩穴分かれ－霧氷  
沢分かれ－普賢岳－紅葉茶屋－仁田峠－  
池原園地－雲仙目メモリアルホール＝伊  
勢屋旅館(泊)

7/10 閉会式(伊勢屋旅館)

7日 監督リーダー会議後に開会式があり、その後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われ、設営審査・炊事審査が行われました。炊事審査中に大雨が降ってきて、すぐ屋根のあるところに避難し、体育館で就寝となりました

8日 登山行動1日目、朝から雨が止まず、雷が鳴っていたため、千々石中学校で待機することになり、山中で行うはずの装備審査を体育館で行い、雨がおさまることを願っていました。昼前に雨脚が弱くなってきたので、田代原トレイルセンターに向かって隊行動で縦走をスタートしました。ほとんど高低差もなく、体力・歩行も差がつかない中、読図審査も行いました。選手たちは田代原トレイルセンターに到着して、キャンプ場で休憩していました。これから登るはずの九千部岳は、濃い霧の中にあり、長崎県の運営スタッフと審査員で相談し、選手だけの行動となるチーム行動だと危ないと判断し、その日の行動はせず、幕営地である千々石中学校に戻り、体育館での就寝となりました。

9日 登山行動2日目、天候は思わしくなく、予定通りの競技ができないと判断し、本来ゴールであるはずの池原園地に向かい、そこから仁田峠までのピストン(往復)行動で縦走することになったが、雨はやむこともなく、途中大きな雷が鳴ったため、そこで強制下山し、池原園地でバスに乗り、旅館に向かいました。宿では12時過ぎにも関わらず、チェックインでき、濡れた体を、お風呂で温めることができ、選手たちは旅館での風呂・布団・食事となり、今までの疲れを十分に癒やせました。ただ、この時期の天候はほとんど雨であり、毎年、満足な登山行動ができないのが残念でした。

10日 10時から、伊勢屋旅館で閉会式となりました。天候が悪く、十分な審査ができませんでしたが、男子は、長崎北陽台高校が98.3点で優勝しました。県総体で優勝した鳥栖工が91.2点の10位で、2位だった佐賀工が94.4点で5位と健闘しました。女子は、大村高校が97.1点で優勝しました。唐津東は、87.5点で昨年より良い点数でしたが、7位となりました。

## 成績

男子 5位 佐賀工 94.4点  
10位 鳥栖工 91.2点  
女子 7位 唐津東 83.9点

## 平成29年度国民体育大会九州ブロック予選

- ・期 日 7月21日(金)～23日(日) (2泊3日)
- ・会 場 長崎県 旧県立式見高等学校体育館  
県立大村高等学校クライミング施設
- ・参加県 少年男子 8県  
少年女子 8県
- ・出場校の選手・監督  
少年男子 靄本 直生(多久高2年)  
中武 凌雅(星生学園3年)  
監督: 武末 良樹(多久高)  
少年女子 樋口 結花(多久高1年)  
渡島 夏希(成章中3年)  
監督: 樋口 義朗(多久高)

### ・日 程

- 7/21 監督リーダー会議・開始式  
(大村市コミュニティセンター大会議室)
- 7/22 ボルダリング競技
- 7/23 リード競技・表彰式

少年男子は、3年連続出場の靄本直生(多久高2年)くんと成長著しい中武凌雅(星生学園3年)くんとペアを組み、国体出場を目指しました。少年女子は、小学生時代から活躍している樋口結花(多久高1年)さんが高校生となり、渡島夏希(成章中3年)さんとペアを組み国体出場を目指しました。監督リーダー会議後、開始式が行われ、翌日からの競技に備えました。

22日 長崎市に移動し、旧県立式見高等学校体育館でボルダリング競技が行われました。男女とも、3位までが国体に出場できるのですが、男子は福岡県に4課題を1撃で完登する選手がいて、靄本くんが個人3位、中武くんが個人5位で団体2位でのスタートとなりました。女子は、樋口さんが4課題を1撃でクリアすることはできなかったが、個人1位となり、渡島さんも3課題を完登し、個人2位と健闘し、団体1位をとりました。

23日 大村市に戻り、県立大村高等学校クライミング施設でリード競技が行われました。男子は、リードを得意としている靄本くんが完登こそ逃したものの、2位を6手以上上回り、個人1位をとり、中武くんも個人5

位と健闘し、団体1位を獲得しました。女子は、樋口さんが完登し、個人1位をとり、渡島さんも長崎県の一人と同高度まで登り、2位を分け合い、団体1位をとりました。

結果、男子も女子も総合1位となり、国体出場を決めました。少年男子は、4年連続、少年女子は5年連続で10月に愛媛で行われる国体に進みました。

## 成績

少年男子 靄本 直生(多久高1年)  
ボルダリング 3位 リード 1位  
中武 凌雅(星生学園3年)  
ボルダリング 5位 リード 5位  
総合1位(国体出場)  
少年女子 樋口 結花(多久高1年)  
ボルダリング 1位 リード 1位  
渡島 夏希(成章中3年)  
ボルダリング 2位 リード 2位  
総合1位(国体出場)

## 第61回全国高等学校登山競技大会

- ・期 日 7月30日(日)～8月3日(木) (4泊5日)
- ・会 場 山形県 月山山系・蔵王山山系
- ・参加校 男子A隊 46校(栃木県・沖縄県除く  
・開催県2校)  
女子B隊 45校(栃木県・岐阜県  
・沖縄県除く・開催県2校)

### ・出場校の選手・監督

男子A隊 鳥栖工: 梅野 真理 日野 侑真  
古賀 日向太 大坪 将樹  
監督: 宮原 敏明  
女子B隊 唐津東: 山下 佳奈 森 冴華  
吉田 日向子 永野 悠希  
監督: 山下 芳史

### ・コース

- 7/30 開会式(蔵王体育館)  
月山・弓張平オートキャンプ場(泊)
- 7/31 (男)幕営地=姥沢駐車場-牛首分岐-  
月山山頂-牛首分岐-金姥-装束場-  
玄海広場-志津野営場駐車場  
(女)幕営地=姥沢駐車場…月山ペアリフト下駅…月山ペアリフト上駅…姥ヶ岳…牛首分岐…月山山頂…牛首分岐…

金姥…装束場…玄海広場…志津野営場  
駐車場＝蔵王総合グラウンド(泊)

- 8／1 (男女)幕営地－瀧山－ドッコ沼－パ  
ラダイス十字路－萩川コース－蔵王  
中央ロープウェイ温泉駅[チーム行動]  
－蔵王総合グラウンド(泊)
- 8／2 (男女)幕営地－蔵王中央ロープウエ  
イ温泉駅－萩川コース－連絡コース－  
ワサ小屋跡[チーム行動]－熊野岳－馬  
の背－苧田峠駐車場＝各宿舎(泊)
- 8／3 閉会式(蔵王体育館)

29日 12:30～専門委員長会議

15:30～監督リーダー会議

今年は、スキー場として名高い蔵王山系、山岳信仰でも有名な月山に登れることもあり、今後なかなかいけな  
いであろう山形県を舞台に全国大会があり、わくわくした  
気持ちを持ちながら、専門委員長として参加しました。  
蔵王体育館で専門委員長会議に出席し、宿に行き、翌日  
からの登山行動に備えました。

30日 蔵王体育館で10時より開会式が行われまし  
た。登山隊編成後、天気図審査、自然観察、救急知識、  
気象知識テストが蔵王体育館内で行われました。各隊で  
コース隊が編成され、バスで幕営地に移動後、設営審査・  
炊事審査が行われました。選手たちが幕営地に移動する  
と、体育館内で専門委員長によるシンポジウムが2回(30  
日・1日)行われました。毎年、全国事務局からテーマが  
投げかけられ、参加した委員長で意見交換を行っている  
が、今年は、3月の栃木県の雪崩について内容でした。  
九州では、雪は降るものの、雪崩の心配は少なく、他県  
での冬場における活動を詳しく聞くことができました。

31日 登山行動1日目で、天候は晴れているが、夏  
でも雪渓が残っている月山に登るので、九州では考えら  
れない気温の中での山行でした。男女とも姥沢駐車場に  
バスで向かい、男子はそこから縦走がスタートし、牛首  
分岐に、女子はペアリフトに乗り、姥ヶ岳を経て、牛首  
分岐についてから、男女とも月山をピストンし、金姥、  
装束場、玄海広場、志津野営場駐車場に縦走していくコ  
ースでした。月山山頂では、強風も吹き、寒さを感じる  
ほどで、選手たちは震えながら、待機していました。専  
門委員長たちは、女子隊の後ろからついていき、山頂  
付近で震えている選手たちを激励しつつ、再びペアリフ  
トに乗り、下山しました。佐賀県チームは男女とも、元

気に歩いていて、応援に答えてくれました。

1日 登山行動2日目で、幕営地からチーム行動で瀧  
山を目指し、ドッコ沼、パラダイス十字路、萩川コース、  
蔵王中央ロープウェイ温泉駅を縦走するコースでした。  
専門委員長たちは宿から先回りして、男子・女子の激励  
を行い、女子隊の後ろからドッコ沼までついていき、そ  
こから選手と別れて、別コースを下りて、幕営地に向か  
い、設営審査を遠くから眺めていました。

2日 登山行動最終日は、男女とも幕営地から先日下  
りてきたコースを逆走し、蔵王中央ロープウェイ温泉駅、  
萩川コース、連絡コース、ワサ小屋跡まではチーム行動  
で行動し、ワサ小屋跡から監督と一緒に、熊野岳、馬の  
背、苧田峠駐車場までを縦走しました。我々は、ロープ  
ウェイ温泉駅で選手を見送った後、別のロープウェイ2  
機を使って、地蔵山頂付近まで移動し、山頂から見下ろ  
すと、男子はワサ小屋跡にかなり集まっているようでした。  
男子隊の監督と合流して、そろって熊野岳を目指し、  
移動していくと同時に、我々もワサ小屋跡まで下山し、  
女子が来るのを待ちました。元気な姿で女子がゴールし、  
全員がそろい、熊野岳を目指し、苧田峠駐車場まで縦走  
しました。

3日 10:00 閉会式

A隊の優勝は、長崎県の長崎北陽台高校で99.6点でし  
た。6年ぶりの全国大会となった鳥栖工が91.5点で、29  
位となりました。B隊の優勝は、岩手県の盛岡第一高校  
で99.7点でした。九州勢は0.4Pの差で大村高校の2位  
が最高で、唐津東は、91.1点で、過去最高順位の25位  
となりました。

成績

男子 29位 鳥栖工業 91.5点

女子 25位 唐津東 91.1点

平成29年度国民体育大会

・期 日 9月30日(土)～10月3日(火)(3泊4日)

・会 場 愛媛県 石鎚クライミングパーク SAIJO  
(リード)  
西条西部体育館特設会場  
(ボルダリング)

・参加県 少年男子20県

少年女子16県

・出場校の選手・監督

少年男子 轟本 直生(多久高2年)

中武 凌雅(星生学園3年)

監督：武末 良樹(多久高)

少年女子 樋口 結花(多久高1年)

渡島 夏希(成章中3年)

監督：樋口 義朗(多久高)

・コース

- 9/30 監督会議  
(西条市総合文化会館 小ホール)
- 10/1 少年男子 リード予選  
少年女子 リード予選
- 10/2 少年男子 ボルダリング予選  
少年女子 ボルダリング予選
- 10/3 少年男子 ボルダリング決勝  
少年女子 リード決勝  
ボルダリング決勝

今年は、少年男子は4年連続、少年女子は5年連続の国体となりました。少年男子は3年連続出場の靄本直生(多久高2年)くんと国体初出場の中武凌雅(星生学園3年)くんのペア、少年女子は今年から高校生となった2年連続出場の樋口結花(多久高1年)さんと渡島夏希(成章中3年)さんのペアが出場しました。

1日 少年男子は、地元愛媛県をはじめ全国の名だたるクライマーたちが集う20組が、午前中のリード予選が挑みました。4年連続の靄本くんは、慎重すぎるくらいゆっくりとして登りであったが、思わぬところで足を滑らせ、まさかの34位、鶴本くんが先に落ちたためか、初めての国体で緊張もあったせいか、中武くんらしくない登りで、31位と伸びず、予選15位で敗退でした。少年女子は、18組36人中、5人が完登し、樋口さんはあと一歩及ばず、6位となり、渡島さんも緊張もあったと思うが、懸命に登り、個人17位となり、予選5位で決勝へ進出しました。

2日 少年男子は昨日予選敗退しているだけに、この日の予選を通らなければ、最終日(3日)の試合は、昨年に引き続き、悔しい観戦にとどまるだけに、気持ちを切り替えて、ボルダリングに挑みました。4課題すべてを完登する選手がいる中で、二人とも第1課題を何とか完登し、第4課題を1撃でクリアしたことで、6位を勝ち取り、どうにか予選を突破しました。少年女子は、上位者が8課題のうち5課題を完登していくなか、樋口さんも3課題を完登し、渡島さんも懸命にトライを重ね、予

選8位で決勝進出を果たしました。

3日 少年男子は決勝4課題のうち、2課題しか完登がなく、厳しい課題のなか、佐賀県を含め下位3チームは、1課題も完登できないまま、ボーナスポイントの差で7位になり、ボルダリングの難しさを味わいました。少年女子は得意のリードで、樋口さんが思わぬところで落ち、予選の順位をカウントバックし、12位、渡島さんも樋口さんと同高度ながら予選順位で17位となり、団体8位となりました。しかし、ボルダリングにおいては、4課題のうち、2課題を完登した選手が1人、1課題を完登した選手が2人と相当難しい課題が出され、ボーナスポイントや試技の回数差で、順位が決まり、樋口さんが予選5位、渡島さんも懸命にトライし、予選15位で団体4位を勝ち取りました。

成績

- 少年男子 靄本 直生(多久高2年)  
中武 凌雅(星生学園3年)  
リード予選 15位  
ボルダリング予選 6位 決勝 7位
- 少年女子 樋口 結花(多久高1年)  
渡島 夏希(成章中3年)  
リード予選 5位 決勝 8位  
ボルダリング予選 8位 決勝 4位

第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

佐賀県予選会

- ・期 日 10月28日(土)
- ・会 場 多久市  
多久高校クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工 佐賀北 多久  
星生学園 (5校)  
(女子) 多久 (1校)
- ・参加者 男子39名 女子1名 計40名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート  
ミドル リード1ルート

全国高体連共催になっている第8回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねているため、男子の3年生が1名参加し、男女併せて総勢40名で、大会が行われました。予定通り全国大会につながるエキスパートクラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパートクラスには、男子は、国体参加

の霧本直生(多久高2年)くん、中武凌雅(星生学園3年)くんに加え、日ごろから積極的に練習している佐賀工業、佐賀北の選手が参加し、女子は樋口結花(多久高1年)さんのみの、寂しい参加となりました。ミドルクラスには、佐賀工業・多久・鳥栖工業の男子選手が出場しました。エキスパートクラスでは、先の国体ボルダリング競技で決勝進出した霧本くんと中武くんは予選免除で全国大会に進めるが、その二人に加え、昨年国体(岩手)に出場経験がある小島麟太郎(佐賀北1年)くんが完登し、タイム差で霧本くんが優勝し、2位に中武くん、3位に小島くんが入りました。ミドルクラスでは、力久稜平(多久高1年)くんが優勝しました。女子については、先の国体で決勝進出を果たした樋口結花(多久高1年)さんが安定した登りで完登しました。結果、男子は、霧本くん・中武くんが日山協推薦で、3位・4位になった小島くん・平井寛太(星生学園1年)が県推薦で全国大会への出場を決め、男子の団体枠として初めて星生学園が選ばれました。女子は樋口さんが日山協推薦で、それぞれ12月に行われる全国大会の切符を手に入れました。

#### 成績

男子	E 1位	霧本	直生(多久高2年)
	E 2位	中武	凌雅(星生学園3年)
	E 3位	小島	麟太郎(佐賀北1年)
	E 4位	平井	寛太(星生学園1年)
	M 1位	力久	稜平(多久高1年)
	M 2位	川越	玄暉(佐賀工2年)
	M 3位	大曲	瑛士(多久高1年)
女子	1位	樋口	結花(多久高1年)

#### 新人大会

- ・期 日 11月11日(土)・12日(日) (1泊2日)
- ・会 場 伊万里市・武雄市・多久市  
眉山・八幡岳山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工  
唐津東 多久 (5校)  
(女子) 唐津東 三養基 (2校)
- ・参加者 男子40名 女子9名 計49名
- ・コース 11日 桃川親水公園[開会式]  
縦走競技：桃川親水公園－眉山キャンプ場  
－川内峠＝宝満山公園  
医療審査、天気図審査  
設営・炊事審査(いこいの広場)[幕営]

12日 縦走競技：宝満山公園＝川内峠－八幡岳－女山(船山)－船山キャンプ場  
＝多久高校[閉会式]

11日 この山系は6年前の新人大会で開催した山系で、伊万里市松浦町の桃川親水公園に集合し、開会式後に、ペーパーテストを行い、昼食後、登山行動がスタートしました。かなりの強風が吹いていた。眉山キャンプ場、川内峠と高低差もほとんどなく、九州自然歩道を縦走するので、比較的楽に歩けていました。途中、体力・歩行・読図審査を行い、川内峠前で装備検査を行い、川内峠で顧問の車に乗り、幕営地である多久市の宝満山公園に向かいました。当初は、眉山キャンプ場で幕営する予定にしていたのですが、この時期は、オープンしていないとのことで、昨年使用した佐里小学校(廃校)跡地に幕営することも考えたが、断られ、二転三転して、宝満山公園を幕営地としました。宝満山公園に到着後、天気図審査、医療テスト、設営・炊事審査を行い、就寝となりました。

12日 5時に起床し、6時30分に宝満山公園を出発し、川内峠に向かい、縦走が始まりました。審査員が体力・歩行審査・読図審査も行いながら、急登である八幡岳までで、いくらかばてた選手もいたが、八幡岳で合流し、女山を経て、船山キャンプ場に到着しました。そこで装備審査を行い、顧問の車で閉会式場である多久高校に向かいました。多久高校で審査内容をすべて入力し、閉会式を迎えました。男子では、佐賀工Aが93.0点で優勝となりましたが、2位以下の点数に伸びが見られなかったことは残念でした。女子は、全国大会を経験した唐津東が86.53点で5連覇を成し遂げました。男女とも、全体的に登山技術・知識が今一つでしたのでどの学校も、冬場のレベルアップに期待したい。

#### 総合成績

男子	1位	佐賀工A	93.00点
	2位	唐津東	84.72点
	3位	佐賀工D	81.90点
女子	1位	唐津東	86.53点
	2位	三養基	66.85点

#### 第8回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

- ・期 日 12月23日(土)・24日(日)
- ・会 場 埼玉県加須市

## 加須市民体育館

- ・参加校 (男子) 多久 星生学園 佐賀北  
(女子) 多久
- ・参加者 男子4名 女子1名
- ・カテゴリー 高校生男子左右2ルート  
高校生女子左右2ルート

高体連共催になり、10月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から男女5名の選手が参加しました。

男子は、国体に出場している靄本直生(多久高2年)くんに期待したが、本来の力が発揮されず、完登者が複数出る中で、予選の2本とも最後のホールドがつかめず、予選は18位で何とかクリアしたものの、準決勝は17位で敗退し、決勝進出を逃しました。同じく国体に参加した中武凌雅(星生学園3年)くんも予選21位で準決勝に進んだものの準決勝で21位となり、敗退しました。初出場の小島麟太郎(佐賀北1年)くんは31位、平井寛太(星生学園1年)くんは35位と力及ばず、予選ルートで敗退となりました。ただし、学校別の団体戦では、中武くん、平井くんの成績が団体3位となり、うれしい入賞でした。

女子は、大会初出場となった樋口結花(多久高1年)さんは、予選2本とも完登し、予選1位(樋口含めて3人)で準決勝に進みました。準決勝でも期待されたが、思わぬところで足を滑らせ、15位となり決勝新進出を逃しました。男女とも、昨年をさらに上回り、クライミングのレベルがかなり上がっていて、全国上位の壁を厚く感じました。

### 成績

男子 靄本 直生(多久高2年)

Aルート 39+ Bルート 32+ 18位/109人  
準決勝 28+ 17位/26人

中武 凌雅(星生学園3年)

Aルート 39+ Bルート 30+ 21位/109人  
準決勝 26+ 21位/26人

小島 麟太郎(佐賀北1年)

Aルート 35+ Bルート 26 27位/109人

平井 寛太(星生学園1年)

Aルート 35+ Bルート 25 35位/109人

団体(星生学園2名の成績による団体戦)

3位/29校

女子 樋口 結花(多久高1年)

Aルート TOP Bルート TOP 1位/83人  
準決勝 24 15位/26人

1. 次の ( ) の中に、適切な青葉を入れなさい。【0.5×20】

佐賀県藤津部 ( ① ) 町にある中山キャンプ場で、開会式が行われる。その後、今考えている学科試験があり、昼食後、特区競技が行われる。特区の時間点は1位のパーティを15点とし、これより1分遅れるごとに ( ② ) 点減点で配点される。今大会では、中山キャンプ場をスタートし、( ③ ) 地蔵を経由して、多良岳がゴールとなる。この特区間の高度差は、約 ( ④ ) mである。ゴール後 ( ⑤ ) 行動で ( ⑥ ) に向かう。この付近の斜面に7月～8月頃、オレンジ色の花をつける ( ⑦ ) が群生している。そこから ( ⑧ ) 行動で、中山キャンプ場に戻る。その後、天気図審査、幕営審査、炊事審査が行われる。

翌6月3日は縦走競技である。4時起床。5時30分集合。顧問の車で、( ⑨ ) 市の奥平谷へ向かう。奥平谷から、( ⑩ ) まで行き、佐賀県最高峰の ( ⑪ ) 【標高 ( ⑫ ) m】に登り、つげ尾、( ⑬ )、岩屋越まで縦走し、スタート地点である奥平谷へ戻ってくる。途中の縦走路には、4、5月頃ならば、淡紅色の花を咲かせている ( ⑭ ) を見ることができる。山頂から、視界がいいとき、電波塔がある ( ⑮ ) 岳、遠く有明海を挟んで、( ⑯ ) 岳が見える。

最終日は、久しぶりに踏査競技が復活する。( ⑰ ) キャンプ場をスタート・ゴールとし、( ⑱ ) の縮尺の地図を使い、パーティ行動で読図力を試される。

九州大会は ( ⑲ ) 県の ( ⑳ ) 山系で、全国大会は ( ㉑ ) 県の蔵王山・月山山系である。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳

2. 次の問に答えなさい。【0.5×6】

- (1) 日程が延びてしまったときのために準備しておく食糧を何というか。
- (2) 雲の動きや風の吹き方などの気象情報を観察して天候の推移を予測することを何というか。
- (3) ビバークするときなどに使う携帯用の簡易テントを何というか。
- (4) 低温や乾燥のために高木が生育できなくなる高度のことを何というか。
- (5) 中山キャンプ場で気温が15度ならば、多良岳山頂の気温は約何度か。
- (6) 不安定で転がりやすい石を何というか。

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

パーティ名	学校名	高等学校
-------	-----	------

3. 次の天気図記号を答えなさい。【0.5×4】



①	②	③	④
---	---	---	---

4. 次の 25000 分の 1 の地形図について答えよ 【0.5×10】



(1) 次の地図記号は何を表しているか。



(2) は、標高何 m のところにあるか。

(3) × は、標高何 m のところにあるか。

(4) A の等高線は、( ) 曲線、B の等高線は、( ) 曲線と言う。  
C の曲線は、国土地理院の地図で、( ) 色になっている。

(1)	①	②	③
	④	⑤	
(2)	m		
(3)	m		
(4)	A	B	C

氏名	得点
----	----

1. 次の ( ) の中に、適切な青葉を入れなさい。【0.5×20】

佐賀県藤津部 ( ① ) 町にある中山キャンプ場で、開会式が行われる。その後、今考えている学科試験があり、昼食後、特区競技が行われる。特区の時間点は1位のパーティを15点とし、これより1分遅れるごとに ( ② ) 点減点で配点される。今大会では、中山キャンプ場をスタートし、( ③ ) 地蔵を経由して、多良岳がゴールとなる。この特区間の高度差は、約 ( ④ ) mである。ゴール後 ( ⑤ ) 行動で ( ⑥ ) に向かう。この付近の斜面に7月～8月頃、オレンジ色の花をつける ( ⑦ ) が群生している。そこから ( ⑧ ) 行動で、中山キャンプ場に戻る。その後、天気図審査、幕営審査、炊事審査が行われる。

翌6月3日は縦走競技である。4時起床。5時30分集合。顧問の車で、( ⑨ ) 市の奥平谷へ向かう。奥平谷から、( ⑩ ) まで行き、佐賀県最高峰の ( ⑪ ) 【標高 ( ⑫ ) m】に登り、つげ尾、( ⑬ )、岩屋越まで縦走し、スタート地点である奥平谷へ戻ってくる。途中の縦走路には、4、5月頃ならば、淡紅色の花を咲かせている ( ⑭ ) を見ることができる。山頂から、視界がいいとき、電波塔がある ( ⑮ ) 岳、遠く有明海を挟んで、( ⑯ ) 岳が見える。

最終日は、久しぶりに踏査競技が復活する。( ⑰ ) キャンプ場をスタート・ゴールとし、( ⑱ ) の縮尺の地図を使い、パーティ行動で読図力を試される。

九州大会は ( ⑲ ) 県の ( ⑳ ) 山系で、全国大会は ( ㉑ ) 県の蔵王山・月山山系である。

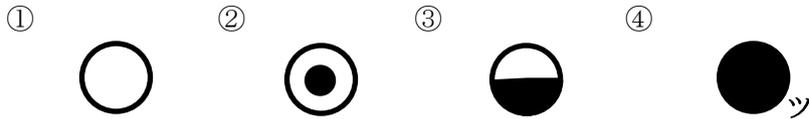
① 太良	② 1	③ 六体	④ 440～460
⑤ パーティ	⑥ 金泉寺	⑦ オオキツネノカミソリ	⑧ 隊
⑨ 鹿島	⑩ 平谷越	⑪ 経ヶ岳	⑫ 1075.7m
⑬ 釜伏山	⑭ ツクシシャクナゲ	⑮ 五家原	⑯ 雲仙
⑰ 広川原	⑱ 1 / 10000	⑲ 長崎	⑳ 山形

3. 次の問に答えなさい。【0.5×6】

- (1) 日程が延びてしまったときのために準備しておく食糧を何というか。
- (2) 雲の動きや風の吹き方などの気象情報を観察して天候の推移を予測することを何というか。
- (3) ビバークするときなどに使う携帯用の簡易テントを何というか。
- (4) 低温や乾燥のために高木が生育できなくなる高度のことを何というか。
- (5) 中山キャンプ場で気温が15度ならば、多良岳山頂の気温は約何度か。
- (6) 不安定で転がりやすい石を何というか。

① 予備食	② 観天望気	③ ツェルト
⑤ 森林限界	⑥ 12	⑦ 浮き石

3. 次の天気図記号を答えなさい。【0.5×4】



① 快晴	② 霧	③ 雷	④ 雨強し
---------	--------	--------	----------

4. 次の 25000 分の 1 の地形図について答えよ 【0.5×10】



(1) 次の地図記号は何を表しているか。



(2)  は、標高何 m のところにあるか。

(3) × は、標高何 m のところにあるか。

(4) A の等高線は、( ) 曲線、B の等高線は、( ) 曲線と言う。  
 C の曲線は、国土地理院の地図で、( ) 色になっている。

(1)	① 針葉樹林	② 記念碑	③ せき
	④ 畑	⑤ 標高点	
(2)	5 4 0 m		
(3)	6 0 5 m		
(4)	A 計	B 主	C 水 (青)

平成29年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会 救急課題(解答例)

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

1. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「A」と「C」が表す処置

をそれぞれ日本語で書きなさい。【0.3×2】

A	C
気道確保	循環

2. 1の問において、文中の( )に適する語句を下から語群から選びなさい。【0.2×5】

Aの処置は、吐物などで物が詰まる場合や、仰向け状態で( ① )が沈下しないように、行う処置である。意識はないが、呼吸をしているときは、( ② )をとらせる必要がある。呼吸をしていない場合は、( ③ )と( ④ )を行い、その割合は( ⑤ )である。

①	②	③	④	⑤
ク	カ	キ	イ	コ

ア, 安全体位	イ, 人工呼吸	ウ, 脈	エ, 脊椎	オ, 状況
カ, 回復体位	キ, 胸骨圧迫	ク, 舌根	ケ, 15:2	コ, 30:2

3. 次の文中の( )に適する語句を下から選べ。【0.2×7】

- ・止血法で一番有効な方法は、( ① )である。
- ・捻挫には、RICEが必要な処置であるが、Iとは( ② )で、1回につき( ③ )分以内に留める。
- ・登山行動における熱中症の予防には、登山前に( ④ )ml程度のスポーツドリンクを飲み、脱水を改善しておく。行動時間が3時間を超える場合には、( ⑤ )など電解質の補給を行う。
- ・低体温症の治療は、( ⑥ )を補給することで、筋肉を動かし熱を生ませる必要がある。
- ・急性高山病は、( ⑦ )m以上の登山で起こりやすい。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
オ	ア	キ	ケ	コ	ス	チ

ア, 冷却	イ, 挙上	ウ, 緊縛法	エ, 止血点の圧迫	オ, 直接圧迫
カ, 安静	キ, 20	ク, 60	ケ, 500	コ, 100
サ, 氷	シ, 飲み水	ス, 炭水化物	セ, 温かいお湯	コ, 塩分
タ, 3000	チ, 2000	ツ, 下山	テ, 震え	ト, 隔離

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬 ( ) 鎮痛剤 ( ) 消毒薬 ( ) 体温計 ( )

平成29年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

3. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「A」と「C」が表す処置をそれぞれ日本語で書きなさい。【0.3×2】

A	C

4. 1の問において、文中の（ ）に適する語句を下から語群から選びなさい。【0.2×5】

Aの処置は、吐物などで物が詰まる場合や、仰向け状態で（①）が沈下しないように、行う処置である。意識はないが、呼吸をしているときは、（②）をとらせる必要がある。呼吸をしていない場合は、（③）と（④）を行い、その割合は（⑤）である。

①	②	③	④	⑤

ア, 安全体位	イ, 人工呼吸	ウ, 脈	エ, 脊椎	オ, 状況
カ, 回復体位	キ, 胸骨圧迫	ク, 舌根	ケ, 15:2	コ, 30:2

3. 次の文中の（ ）に適する語句を下から選べ。【0.2×7】

- ・止血法で一番有効な方法は、（①）である。
- ・捻挫には、RICEが必要な処置であるが、Iとは（②）で、1回につき（③）分以内に留める。
- ・登山行動における熱中症の予防には、登山前に（④）ml程度のスポーツドリンクを飲み、脱水を改善しておく。行動時間が3時間を超える場合には、（⑤）など電解質の補給を行う。
- ・低体温症の治療は、（⑥）を補給することで、筋肉を動かし熱を生ませる必要がある。
- ・急性高山病は、（⑦）m以上の登山で起こりやすい。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

ア, 冷却	イ, 挙上	ウ, 緊縛法	エ, 止血点の圧迫	オ, 直接圧迫
カ, 安静	キ, 20	ク, 60	ケ, 500	コ, 100
サ, 氷	シ, 飲み水	ス, 炭水化物	セ, 温かいお湯	コ, 塩分
タ, 3000	チ, 2000	ツ, 下山	テ, 震え	ト, 隔離

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬（ ） 鎮痛剤（ ） 消毒薬（ ） 体温計（ ）

# 平成29年度 佐賀県高等学校総合体育大会登山大会審査集計表

大会山域

多良岳・経ヶ岳山系

日 程

平成29年6月2日～6月4日

	縦 走						天気図	装備	計画書	記録	学科	設営 撤収	救急法	炊事	7+1	総合計	順位	備 考
	特 区		縦走		踏査													
	時間点	完歩点	体力 歩行	読図	制限 時間点	読図												
	15	2	12	6	4	6												
A 1	8	2	11.3	4.2	4	5	7	5	3.5	2.5	5.05	2.4	3.60	4	4	71.550		
A 2	15	2	11.9	4.8	4	5.5	8.2	6	4.5	4.5	6.40	5.4	4.80	5	5	93.000	1	鳥工A
A 3	0	2	4.9	0	4	1	2.4	3.5	3	0	1.90	0	3.80	2	4.5	33.000		
A 4	15	2	11.9	5.4	4	4.5	8.7	6	3.5	5	6.65	5.4	4.30	4	4.5	90.850	2	佐工A
A 5	3	2	11.9	5.4	4	5.5	8.1	5.5	5	4.5	6.05	5.4	3.90	5	5	80.250	3	唐東A
A 6	3	2	11.3	4.8	4	6	9.2	6	3.5	3.5	6.55	4.8	4.50	4	5	78.150		
B 1	0	2	9.7	5.4	4	3.5	8.7	6	3.5	5	6.25	3.6	3.60	4	5	70.250		
B 2	3	2	8.4	5.4	4	5	9.2	5.5	3.5	3.5	5.55	4.2	4.30	4	5	72.550		
B 3	0	2	5.1	1.2	4	3.5	2	1.25	3	1	3.07	1.8	0.80	1	4	33.717		
B 4	0	2	11.5	2.4	4	4	5.8	1.75	4.5	3.5	4.40	4.2	0.80	4	5	57.850		
B 5	11	2	11.9	1.8	4	4.5	6	4	4.5	2	3.50	3.6	3.10	4	4	69.900		
B 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.35	0	0.00	0	0	1.350		
B 7	0	2	11.7	1.2	4	2.5	3.3	4	3.5	1.5	4.50	1.2	2.90	2	5	49.300		
B 8																		
C 1	15	2	11.9	3	4	6	7.4	6	5	4	6.10	6	4.40	3.5	5	89.300	1	唐東A
C 2	0	2	11.2	0.6	4	2.5	6.5	5.25	3.5	1	5.20	2.4	3.20	1	4.5	52.850	2	三高A
C 3	0	2	0	0	0	0	0	0	3.5	0	3.80	0	0.00	0	0	9.300		

男子 鳥栖工業高等学校 6年ぶり28回目

女子 唐津東高等学校 4年連続4回目

# 平成29年度佐賀県高等学校登山新人大会 自然観察課題

平成29年11月11日(土)実施

## 1 次の文中の(①)～(⑳)に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×25】

1日目は、(①)市(②)町にある(③)で開始式が行われる。その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が実施される。縦走スタートは、(③)から(④)沿いに南下し、番所跡から「かたつむり」をシンボルマークとする(⑤)を縦走する。途中、牛舎や池などを見つつ、なぜかバイクが散乱している個所を通り、林道を抜け、しばらくすると(⑥)キャンプ場に到着する。山頂である(⑥)[標高(⑦)m]には行かない。当初は、このキャンプ場で幕営する予定だったが、この時期は開いていないので、(⑧)分岐、(⑨)分岐を経て、1日目のゴールである(⑩)に到着する。ここは、(①)市(⑪)町と(⑫)市(⑬)町と接している。ここから、幕営地である宝満山公園に車で向かい、午後(⑭)時に(⑮)・(⑯)を行い、設営・炊事審査を行う予定である。

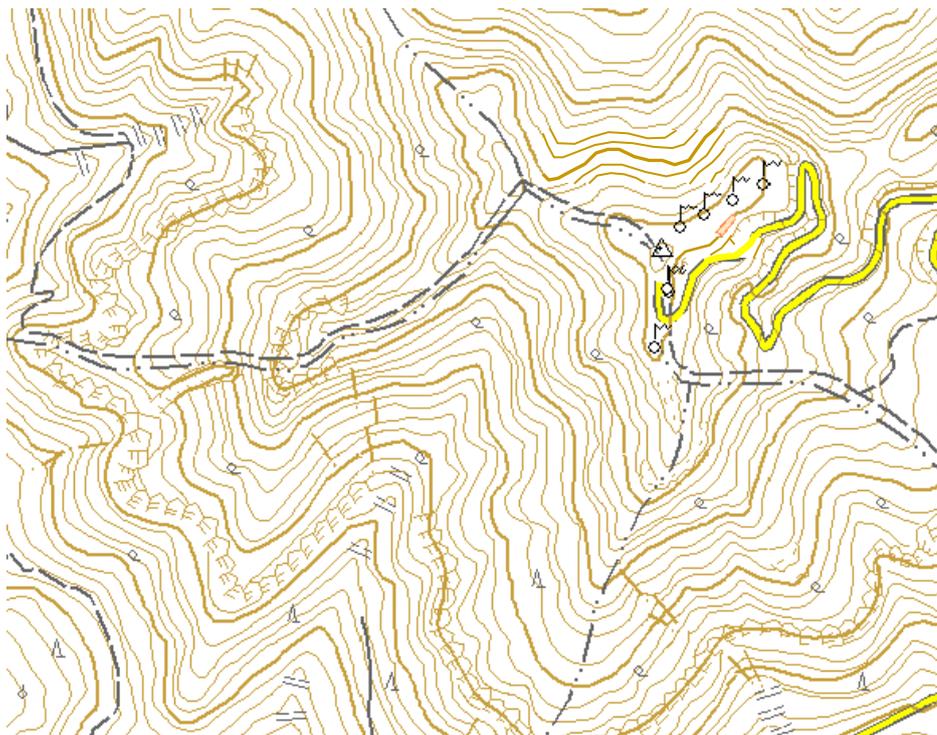
2日目は、(⑰)時に起床し、(⑩)へ車で移動する。ここから(⑱)[標高(⑲)m]にアタックする。朝、起き抜けの上、標高差が(⑩)から(⑳)mあるので、体調をしっかりと整えておきたい。山頂から車道や登山道を下り、(⑱)キャンプ場を経て、(㉑)(㉒)[標高(㉓)m]に登り、2日目のゴールである(㉔)市の(㉕)キャンプ場に到着する。閉会式は、(㉖)で行う予定である。

## 2 次の問いに答えなさい。【0.5×15】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。

- ① 北野    ② 百堂原    ③ 上原    ④ 猪鹿

(2) 下図にある地図記号(車道、林道、等高線、市町村界以外)を7つ答えなさい。



(3) 次の問いに正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。

- ① 1の⑱の名前の由来になっている平安時代後期の武将は、平家ゆかりの武将である。
- ② 1の⑩から登り、⑱の手前には、6月下旬から7月中旬にかけて、見頃のオオキツネノカミソリの群生がある。
- ③ 1の⑩の南にあるダムは、竜門ダムである。
- ④ 審査委員長は、多久高校の武末良樹先生である。

3 次の地点の風向、風力、天気、気温、および気圧を書きなさい。【0.5×5】



4 登山用語について次の問いに答えなさい。【0.5×5】

- ① 二人以上がお互いに確保するためにザイルで体を結びあうこと。
- ② 膝から下を振り子のように振って靴をつま先から雪に食い込ませ、足場を作りながら登る歩き方。
- ③ 登山ルートの一つの平面で切断したと仮定し、その立体形状を示した図。
- ④ 高山に登ったとき、自分の影が向かい側の雲や霧に映り、その周囲に光の輪が幾重にも見える現象。
- ⑤ ブッシュ(藪)をかき分けながら進むこと。

1 【0.5×25】

① 伊万里	② 松浦	③ 桃川親水公園	④ 松浦川	⑤ 九州自然歩道
⑥ 眉山	⑦ 5 1 8 . 3	⑧ 菅牟田	⑨ 東田代	⑩ 川内峠
⑪ 大川	⑫ 武雄	⑬ 若木	⑭ 4	⑮ 医療審査
⑯ 天気図審査	⑰ 5	⑱ 八幡岳	⑲ 7 6 3 . 6	⑳ 4 4 3 . 6
㉑ 女山	㉒ 船山	㉓ 6 9 5	㉔ 多久	㉕ 多久高校

2 【0.5×15】

(1)	① きたんの	② ひゃくどうばる	③ うわばる	④ ちゅうろく
(2)	広葉樹林	針葉樹林	三角点	電波塔
	がけ	せき	雨裂	
(3)	① ×	② ○	③ ×	④ ×

3 【0.5×5】

風向 南東	風力 5	天気 曇り	気温 1 7 °C	気圧 9 9 8 h Pa
----------	---------	----------	--------------	------------------

4 【0.5×5】

① アンザイレン	② キックステップ	③ 断面図	④ ブロッケン	⑤ 藪こぎ
----------	-----------	-------	---------	-------

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/25

# 平成29年度佐賀県高等学校登山新人大会 自然観察課題

平成29年11月11日(土)実施

## 1 次の文中の( ① )～( ⑳ )に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×25】

1日目は、( ① )市( ② )町にある( ③ )で開始式が行われる。その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が実施される。縦走スタートは、( ③ )から( ④ )沿いに南下し、番所跡から「かたつむり」をシンボルマークとする( ⑤ )を縦走する。途中、牛舎や池などを見つつ、なぜかバイクが散乱している個所を通り、林道を抜け、しばらくすると( ⑥ )キャンプ場に到着する。山頂である( ⑥ ) [標高( ⑦ ) m]には行かない。当初は、このキャンプ場で幕営する予定だったが、この時期は開いていないので、( ⑧ )分岐、( ⑨ )分岐を経て、1日目のゴールである( ⑩ )に到着する。ここは、( ① )市( ⑪ )町と( ⑫ )市( ⑬ )町と接している。ここから、幕営地である宝満山公園に車で向かい、午後( ⑭ )時に( ⑮ )・( ⑯ )を行い、設営・炊事審査を行う予定である。

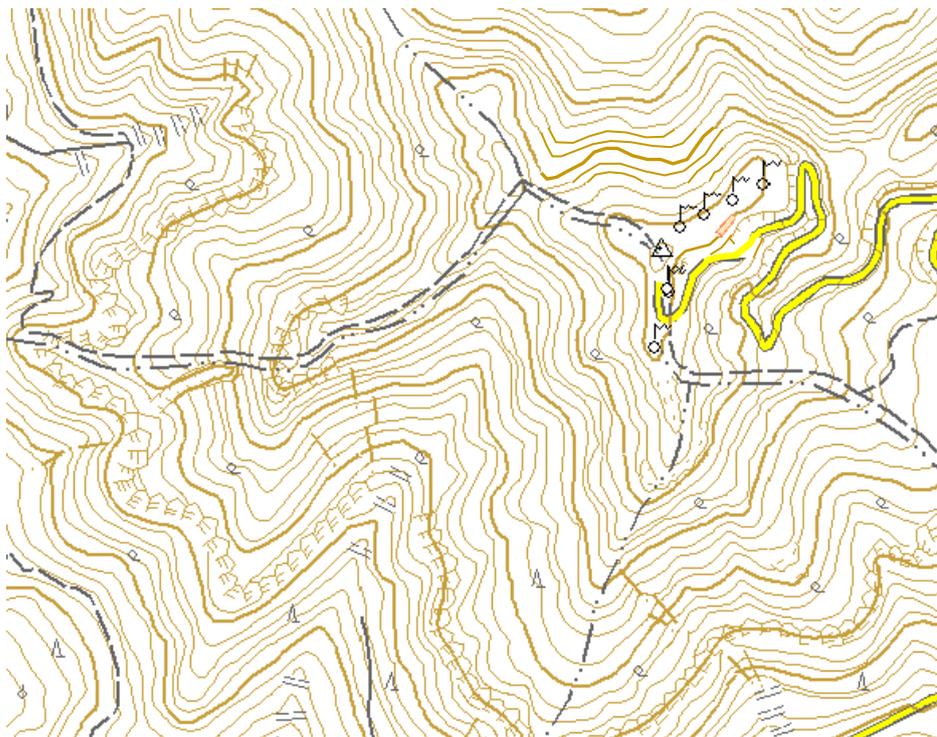
2日目は、( ⑰ )時に起床し、( ⑩ )へ車で移動する。ここから( ⑱ ) [標高( ⑲ ) m]にアタックする。朝、起き抜けの上、標高差が( ⑩ )から( ⑳ ) mあるので、体調をしっかりと整えておきたい。山頂から車道や登山道を下り、( ⑱ )キャンプ場を経て、( ㉑ ( ㉒ ) ) [標高( ㉓ ) m]に登り、2日目のゴールである( ㉔ )市の( ㉕ )キャンプ場に到着する。閉会式は、( ㉖ )で行う予定である。

## 2 次の問いに答えなさい。【0.5×15】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。

- ① 北野    ② 百堂原    ③ 上原    ④ 猪鹿

(2) 下図にある地図記号(車道、林道、等高線、市町村界以外)を7つ答えなさい。



(3) 次の問いに正しいものには○、間違っているものには×で答えなさい。

- ① 1の⑱の名前の由来になっている平安時代後期の武将は、平家ゆかりの武将である。
- ② 1の⑩から登り、⑱の手前には、6月下旬から7月中旬にかけて、見頃のオオキツネノカミソリの群生がある。
- ③ 1の⑩の南にあるダムは、竜門ダムである。
- ④ 審査委員長は、多久高校の武末良樹先生である。

3 次の地点の風向、風力、天気、気温、および気圧を書きなさい。【0.5×5】



4 登山用語について次の問いに答えなさい。【0.5×5】

- ① 二人以上がお互いに確保するためにザイルで体を結びあうこと。
- ② 膝から下を振り子のように振って靴をつま先から雪に食い込ませ、足場を作りながら登る歩き方。
- ③ 登山ルートを一つの平面で切断したと仮定し、その立体形状を示した図。
- ④ 高山に登ったとき、自分の影が向かい側の雲や霧に映り、その周囲に光の輪が幾重にも見える現象。
- ⑤ ブッシュ(藪)をかき分けながら進むこと。

1 【0.5×25】

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

2 【0.5×15】

(1)	①	②	③	④
(2)				
(3)	①	②	③	④

3 【0.5×5】

風向	風力	天気	気温	気圧
----	----	----	----	----

4 【0.5×5】

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/25

平成29年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題(解答例)

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

1. 低体温症について、文中の( )に適する語句を語群から選びなさい。【0.2×6】

脳や内臓(深部体温)が( ① )℃以下になった状態である。症状は「( ② )」・「( ③ )」・「呼吸と脈」を観察し、②は通常最初に現れる症状であり、②は熱を生むが、カロリーと酸素を消費するので、( ④ )の補給が最も効率的なエネルギーとなる。③は有るか無いかではなく、普段通りか否かを確認する。

低体温症の予防と処置に対するキーワードは、食べる・隔離・( ⑤ )・加温である。⑤は、ダウンやフリース生地の防寒具を着て、体温が逃げにくくすることである。加温では、折畳式水筒などで湯たんぽをつくり、胸にあてることが有効だが、( ⑥ )では、下がった体温を上げられない。

① イ	② ウ	③ カ	④ コ	⑤ キ	⑥ ケ
--------	--------	--------	--------	--------	--------

ア, 38	イ, 35	ウ, 震え	エ, 吐き気	オ, 頭痛
カ, 意識	キ, 保温	ク, 水分	ケ, 使い捨てカイロ	コ, 炭水化物

2. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「A」が表す処置を日本語で書きなさい。【0.3】

気道確保(気道でもよい)

3. 熱傷について、文中の( )に適する語句を①～⑤については下から語群から選び、アンダーラインの部分  
部分が正しければ、回答欄に○を、間違っていれば、正しい答えを書きなさい。【0.2×5+0.2】

熱傷の処置としては、とにかく( ① )である。ただし、( ② )を使わない。①の時間は、( ③ )分程度である。最大( ④ )分以内にとどめないと( ⑤ )の原因となる。衣服を着たまま、やけどした場合は、衣服を無理に脱がせてから、水をかける。

① オ	② キ	③ ア	④ ウ	⑤ ケ	⑥ 衣服の上から
--------	--------	--------	--------	--------	-------------

ア, 5	イ, 10	ウ, 15	エ, 20	オ, 冷却
カ, 保温	キ, 氷	ク, 熱射病	ケ, 低体温症	コ, 温水

4. 登山行動中に足を打撲してしまった。その処置をアルファベット4文字でRICEと表されるが、「E」は  
はどういう意味か、答えなさい。【0.3】

心臓より高い位置に上げる。

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬 ( ) 虫さされ薬 ( ) 体温計 ( ) 包帯 ( )

平成29年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点
			/5

4. 低体温症について、文中の（ ）に適する語句を語群から選びなさい。【0.2×6】

脳や内臓（深部体温）が（ ① ）℃以下になった状態である。症状は「（ ② ）」・「（ ③ ）」・「呼吸と脈」を観察し、②は通常最初に現れる症状であり、②は熱を生むが、カロリーと酸素を消費するので、（ ④ ）の補給が最も効率的なエネルギーとなる。③は有るか無いかではなく、普段通りか否かを確認する。

低体温症の予防と処置に対するキーワードは、食べる・隔離・（ ⑤ ）・加温である。⑤は、ダウンやフリース生地の防寒具を着て、体温が逃げにくくすることである。加温では、折畳式水筒などで湯たんぽをつくり、胸にあてることが有効だが、（ ⑥ ）では、下がった体温を上げられない。

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

ア, 38	イ, 35	ウ, 震え	エ, 吐き気	オ, 頭痛
カ, 意識	キ, 保温	ク, 水分	ケ, 使い捨てカイロ	コ, 炭水化物

5. 傷病者への初期対応「3SABCDE」がある。「A」が表す処置を日本語で書きなさい。【0.3】

6. 次の熱傷について、文中の（ ）に適する語句を①～⑤については下から語群から選び、アンダーラインの部分  
の部分が正しければ、回答欄に○を、間違っていれば、正しい答えを書きなさい。【0.2×5+0.2】

熱傷の処置としては、とにかく（ ① ）である。ただし、（ ② ）を使わない。①の時間は、（ ③ ）分程度である。最大（ ④ ）分以内にとどめないと（ ⑤ ）の原因となる。衣服を着たまま、やけどした場合は、衣服を無理に脱がせてから、水をかける。

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

ア, 5	イ, 10	ウ, 15	エ, 20	オ, 冷却
カ, 保温	キ, 氷	ク, 熱射病	ケ, 低体温症	コ, 温水

4. 登山行動中に足を打撲してしまった。その処置をアルファベット4文字でRICEと表されるが、「E」はどういう意味か、答えなさい。【0.3】

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

風邪薬（ ） 虫さされ薬（ ） 体温計（ ） 包帯（ ）

平成29年度 佐賀県高等学校新人登山大会 審査集計表

平成29年11月11日(土)・12日(日)

眉山・八幡岳・女山山系

	縦 走			縦 走			天 気 図	装 備	計 画 書	記 録	学 科	設 営 ・ 撤 収	救 急 法	炊 事	マ ナ 	総 合 計	順 位	備 考
	1 日 目			2 日 目														
	体 力	歩 行	読 図	体 力	歩 行	読 図												
	10	5	10	10	5	6												
A 1	9	5	7	6.5	5	1	1.35	7	5.5	0.8	4.20	3	4.30	1	1	61.65	10	
A 2	10	5	8	10	5	6	4.5	10	6	3.6	7.40	6	5.00	4.5	2	93.00	1	佐工A
A 3	10	4	3	6	5	2	1.65	5	5.5	0.8	2.80	4	2.60	2	0.5	54.85	11	
A 4	10	5	3	9.5	5	2	2.65	10	4.5	2	6.47	3	4.00	4.5	1.5	73.12	8	
A 5	10	4	7	9	5	5	3.7	9	6	0.8	5.60	4	5.00	3	2	79.10	5	
A 6	10	5	4	9.5	5	4	3.65	10	5.5	1.2	5.10	3	4.40	4	2	76.35	7	
A 7	10	5	9	9.5	5	3	3.25	9	5	2.8	6.93	2.5	4.40	5	1.5	81.88	4	
A 8	9	5	8	9.5	5	5	2.9	7	5.5	2.4	4.00	4.5	4.00	5	1.5	78.30	6	
A 9	10	5	9	9.5	5	3	2.95	10	5	2.8	6.87	5	4.10	4.5	2	84.72	2	唐津東
A 1 0	10	4	8	10	4.5	4	3.85	9	5.5	3.6	4.95	4	4.00	5	1.5	81.90	3	佐工D
A 1 1	10	5	7	8.5	5	3	2.6	4	5.5	1.6	3.60	6	4.80	4	1.5	72.10	9	
B 1	10	3	1	7	4	1	2.7	10	5	2.4	6.75	4	5.00	3	2	66.85	2	三養基
B 2	10	5	6	9.5	5	5	3.45	10	5	3.8	6.48	6	4.30	5	2	86.53	1	唐津東

男子 優勝 佐賀工業 A 3連覇  
2位 唐津東  
3位 佐賀工業 D

女子 優勝 唐津東 5連覇  
2位 三養基